

社会心理学会方法論セミナー (2023/03/13)

「APAマニュアルにみる質的研究の評価の視点」

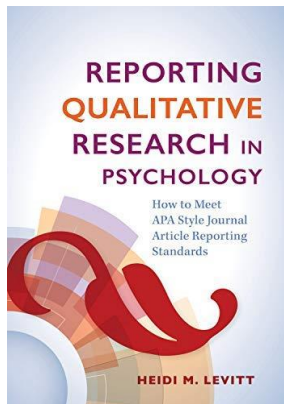
APAスタンダードの 背景とポイント

東京大学大学院教育学研究科
能智正博

1

APAスタンダードの解説書

- Levitt, H. M. (2019)



能智、大橋、抱井、鈴木、
柴山、保坂により
鋭意翻訳中！



2

本日のアウトライン

- APAスタンダードの背景
- APAスタンダードの構成
- APAスタンダードのキー概念：Methodological Integrity
- APAスタンダードの記述内容：「知見／結果」セクション

3

質的研究評価の難しさ

- 「質的研究」の認識論的多様性
ポスト実証主義から社会的構築主義まで
流派・学派による独自の視点 (Cresswell & Poth, 2018)
- 「質的研究」の絶えざる発展、進化
方法の組み合わせ
表現方法の工夫（科学論文～芸術表現）
- 既存の視点を超えるという「質的研究」の志向
スタンダードを踏み越えることを評価する
→ スタンダードを作ることの矛盾

4

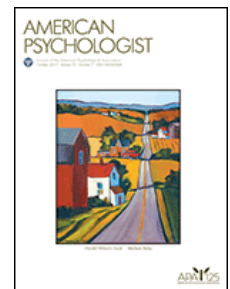
それでも必要とされる目安

- 質的研究の広がり
 - 学術誌における質的研究の受け入れ
 - 質的研究専門誌の創刊（2000年前後～）
- 学術機関人事における業績主義
 - 質的研究論文を学術誌に載せることのニーズ
 - ↓
 - 学術誌の側での質的研究の質の判断のニーズ
- 評価の必要条件としての基準の策定へ
 - 必要十分条件を記述し尽くすことは無理でも……

5

APAにおける論文執筆スタンダード作成まで

- 2008 量的研究論文のスタンダードを*American Psychologist*誌上に発表される。
- 2009 *Publication Manual* (6th ed.) に上記スタンダードを組込む。
- 2015 質的研究論文スタンダードを作るための作業部会が設置される。
- 2018 作業部会報告が、Levittらの論文として*American Psychologist*誌に掲載される。同時に、量的研究論文スタンダードの改訂版も発表される。
- 2018 APAホームページに、スタンダード公開。



6



© 2018 American Psychological Association
0003-066X/18/\$12.00

American Psychologist

2018, Vol. 73, No. 1, 26–46
<http://dx.doi.org/10.1037/amp0000151>

Journal Article Reporting Standards for Qualitative Primary, Qualitative Meta-Analytic, and Mixed Methods Research in Psychology: The APA Publications and Communications Board Task Force Report

Heidi M. Levitt
University of Massachusetts Boston

Michael Bamberg
Clark University

John W. Creswell
University of Michigan Medical School

David M. Frost
University College London

Ruthellen Josselson
Fielding Graduate University

Carola Suárez-Orozco
University of California, Los Angeles

The American Psychological Association Publications and Communications Board Working Group on Journal Article Reporting Standards for Qualitative Research (JARS-Qual Working Group) was charged with examining the state of journal article reporting standards as they applied to qualitative research and with generating recommendations for standards that would be appropriate for a wide range of methods within the discipline of psychology. These standards describe

JARS IS NOT TO BE CONSIDERED A JOURNAL.

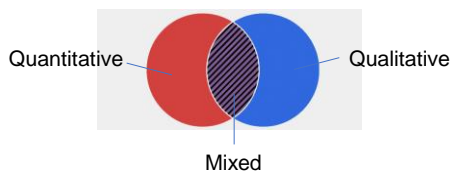
7

質的研究論文執筆スタンダードの公開

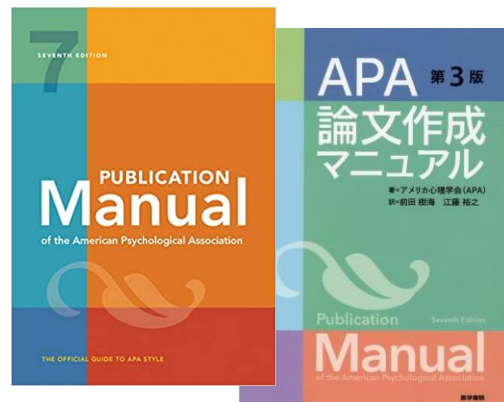
- APA Home pageへの掲載

<https://apastyle.apa.org/jars>

Journal Article
Reporting Standard



- Publication Manualへの掲載



8

JARS–Qual | Table 1
 Information Recommended for Inclusion in Manuscripts That Report Primary Qualitative Research

<p>Title Page</p> <p>Title</p> <ul style="list-style-type: none"> Identify key issues/topic under consideration. <p>Author Note</p> <ul style="list-style-type: none"> Acknowledge funding sources or contributors. Acknowledge conflicts of interest, if any. <p>Abstract</p> <ul style="list-style-type: none"> State the problem/question/objectives under investigation. Indicate the study design, including types of participants or data sources, analytic strategy, main results/findings, and main implications/significance. Identify five keywords. <p>Guidance for Authors</p> <ul style="list-style-type: none"> Consider including at least one keyword that describes the method and one that describes the types of participants or phenomena under investigation. Consider describing your approach to inquiry when it will facilitate the review process and intelligibility of your paper. If your work is not grounded in a specific approach to inquiry or your approach would be too complicated to explain in the allotted word count, however, it would not be advisable to provide explication on this point in the abstract. <p>Introduction</p> <p>Description of Research Problem or Question</p> <ul style="list-style-type: none"> Frame the problem or question and its context. Review, critique, and synthesize the applicable literature to identify key issues/debates/theoretical frameworks in the relevant literature to clarify barriers, knowledge gaps, or practical needs. <p>Guidance for Reviewers</p> <ul style="list-style-type: none"> The introduction may include case examples, personal narratives, vignettes, or other illustrative material. <p>Study Objectives/Aims/Research Goals</p>	<p>Study Objectives/Aims/Research Goals (continued)</p> <ul style="list-style-type: none"> Describe the approach to inquiry, if it illuminates the objectives and research rationale (e.g., descriptive, interpretive, feminist, psychoanalytic, postpositivist, critical, postmodern, constructivist, or pragmatic approaches). <p>Guidance for Authors</p> <ul style="list-style-type: none"> If relevant to objectives, explain the relation of the current analysis to prior articles/publications. <p>Guidance for Reviewers</p> <ul style="list-style-type: none"> Qualitative studies often legitimately need to be divided into multiple manuscripts because of journal article page limitations, but each manuscript should have a separate focus. Qualitative studies tend not to identify hypotheses, but rather research questions and goals. <p>Method</p> <p>Research Design Overview</p> <ul style="list-style-type: none"> Summarize the research design, including data-collection strategies, data-analytic strategies, and, if illuminating, approaches to inquiry (e.g., descriptive, interpretive, feminist, psychoanalytic, postpositivist, critical, postmodern, constructivist, or pragmatic approaches). Provide the rationale for the design selected. <p>Guidance for Reviewers</p> <ul style="list-style-type: none"> Method sections can be written in a chronological or narrative format. Although authors provide a method description that other investigators should be able to follow, it is not required that other investigators arrive at the same conclusions but rather that the method description leads other investigators to conclusions with a similar degree of methodological integrity. At times, elements may be relevant to multiple sections and authors need to organize what belongs in each subsection in order to describe the method coherently and reduce redundancy. For instance, the overview and the objectives statement may be presented in one section. Processes of qualitative research are often iterative versus linear, may evolve through the inquiry process, and may move between data collection and analysis in multiple formats. As a result, data collection and analysis sections might be combined.
---	---

9

質的研究の特徴 (Manual 邦訳p.3)

1. 自然言語、研究者による観察、研究参加者の表情からなるデータを分析する。研究論文は、自然言語を用いて質的な研究結果の展開が示されることが多い。

expressions

2. 反復的な分析プロセスが用いられることがよくある。そこではデータ分析を継続しつつ研究結果に再検討を加え、初期の結果を精緻なものへと改良していく。

- データ収集とデータ分析
- データ分析のなかでの往還

10

質的研究の特徴 (Manual 邦訳p.3)

3. 研究者自身の視点が研究プロセスをどのように支え、あるいは損なっているか、そして、その方法を最高のものとするにはどのように実行されればよいかについて、探求そのものが研究者の省察を必要とする方法と再帰的に結び付けられる。

recursively

reflexivity

4. その意味が変化するかもしれない経験や行動が研究される傾向がある。したがって、研究者は研究の結果を限られた空間と時間のなかにあるものとみなす傾向がある。

→ Locality の重視、文脈主義 (contextualism)

11

APAスタンダードの概要

• 正式名称

Journal Article Reporting **Standards** for Qualitative Research (JARS-Qual)
(以下、「APAスタンダード」)

- Primary qualitative research
- Qualitative meta-analysis

• 質的研究のAPAスタンダードの構成

- 「論文のセクションないし要素」
- 「報告に含めるべき情報」
- 「論文筆者に考慮してほしいこと／査読者に注意してほしいこと」

「基準」：物事を他と比べるとき
の基礎となる標準

Cf.) Criteria = 「規準」：物事の規
範や手本となる標準

12

「論文のセクションないし要素」

- タイトル
- カバーページ
- 要約
- インTRODクシヨン
 - 研究上の問題や設問
 - 調査目標、目的、研究目標
- 方法
 - 研究デザインの概要
 - 研究参加者やデータ・ソース
 - 研究者に関する記述
 - 研究参加者や他のデータ・ソース
 - 研究者と参加者との関係
- 研究参加者の募集
 - 募集のプロセス
 - 参加者の選択
- データ収集
 - データ収集・特定の手続き
 - 記録とデータの変換
- 分析
 - データ分析の手法
- 方法論的整合性
- 知見または結果
 - 知見のサブセクション
- 考察
 - 考察のサブセクション

13

「論文のセクションないし要素」

- セクション構成に関する注意 (Manual邦訳、p.95)

セクションをどのように構成するかは、それぞれの研究の状況に応じて著者が決める必要がある。(……) 必要な情報が記載されていれば、量的な論文のようにセクションやサブセクションに分ける必要はない。

- 論文原稿の形式に関わる要素も含む
 - カバーページ → 謝辞
 - アブストラクト → 「キーワードを5つ……」

14

「報告に含めるべき情報」

- 文体の特徴
ほとんどすべて命令形にも見える箇条書き。
- 「イントロダクション」セクションより

frame

(Manual邦訳p.96)

- 問題もしくは疑問と、その文脈を構築する。
- 障壁、知識のギャップ、または実践的なニーズを明らかにすべく、関連する文献における主要な問題点／議論／理論的枠組みを特定するために、適切な文献をレビュー、批評、統合する。

15

「ガイダンス」

- 量研究のスタンダード (JARS-Quant) にはない。
- 文体の特徴
may, might, can, couldの多用
命令調であってもif節を伴うことが多い
- 「イントロダクション」セクションより

(Manual邦訳p.96)

- 査読者へ：イントロダクションには、事例、個人的な語り、ビネット、あるいは説明に役立つその他の資料を含めることができる。
- 著者へ：もし研究目的に関連する場合には、現在の分析と過去の論文や出版物との関連性を説明する。

16

APAスタンダードに独特のセクション

- 方法 > **methodological integrity**



質的研究の信用性 *trustworthiness* を方法論の観点から見る概念として、Levitt, et al. (2017) が提唱

- **Integrity** のニュアンス

< in-t-e-g-e-r + i-t-y (手に触れられていない状態、完全な状態)

用例：a man of great moral integrity

the territorial integrity of the country

関連語：integer, integral, integrate



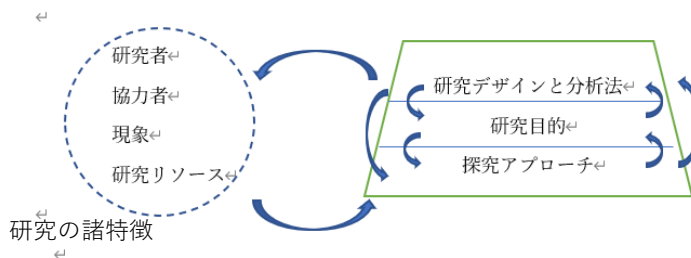
まとまり感、すっきり感……

→ 「整合性」

17

「整合」すべき要素？ (Levitt, 2019)

- 研究の諸特徴（対象現象の特徴、研究参加者の特徴、研究者の特徴、研究リソースの特徴）
- 研究デザインと分析方法
- 研究目的
- 探究のアプローチ



18

方法論的整合性のセクションの内容

- 概要 (Manual 邦訳p.99も参照)

[このセクションでは] 分析から得られた主張が確かなもので、それにより方法論的整合性に基づいた知見が生み出されたことを示す。方法論的整合性(つまり、**忠実性と有用性**)を支える手続きは、通常は論文中の関連するセクションにまたがって述べられるが、詳しく説明・強調することが有用な場合には、独立のセクションで取り上げることもできる。

研究成果の有用性 (utility of contributions)

研究テーマへの忠実性 (fidelity to subject matter)

19

「忠実性」と「有用性」

例：学生の学習方略の改善を援助することを目的とした研究

A) 学生たちに注意深くインタビューして、多くの引用から学習における困難さの詳細を丁寧に、説得的に描きだしている。しかしそれを読んだ学生が、どういう学習方略をとれば自分の学びの改善につながりそうかという点ではあまりアイデアをもたらさないし、先行研究に示されている方略に何を付け加えられるかはあいまいである。

B) 学生が試みることのできるいくつかの学習方略を具体的に提案しており、読んだ学生はちょっとためしてみようかという気持ちになる。しかし、引用は意味をなすには短すぎ、インタビューは表面的に見え、提案された種々の方略が本当にこの問題の詳細な理解から来ているのかと疑わしい。

20

「忠実性」を示す

(Manual 邦訳p.99-100も参照)

- 研究設問・研究目標・探求アプローチに最も関連する多様性の形を捉えているかという観点から、データの適切さを評価すること。
- データ収集と分析の両方において、研究者の視点がどのように統制されていたかを記述すること(例えば、データ収集への影響を抑えるため、分析を構造化するためなど)。
- 知見が証拠に根ざしていることを例証すること(例えば、引用や抜粋を用いる、データ収集における研究者の関与を記述するなど)。

21

「有用性」を示す

(Manual 邦訳p.100も参照)

- 研究の貢献が洞察に富み意義あるものだということを示す(例えば、最新の文献や研究目標との関連性を示すなど)。
- 研究知見に関連する文脈情報を提供する(例えば、インタビューの抜粋を引用する前に、必要に応じて研究の設定、研究参加者に関する情報、質問の言葉を示すなど)。
- データに含まれる矛盾や反例が理解できるよう、一貫したやり方で知見を提示する(例えば、矛盾を調整する、結果に矛盾が含まれ得る理由を説明するなど)。

22

知見または結果

- 研究の知見(テーマ、カテゴリー、ナラティブなど)や研究者がデータ分析から導き出した意味や理解について記述する。
- 研究の知見を得るまでの分析過程を示す(例えば、引用やデータの抜粋の提示など)。
- 研究の知見を研究デザインに適合した方法で提示する。
- 研究の知見を整理して伝えるのに役立つ場合は、総合的な説明図(図、表、モデルなど)を提示する。写真や動画へのリンクを使ってもよい。

23

知見または結果

• 査読者へ

結果セクションは、分析手順の評価を可能にするための論証的なレトリックを必要とするため、量的研究の論文に比べて長くなる傾向がある。

探究アプローチによっては、結果と考察を組み合わせることもできるし、分析への研究者の関わりを描き出すために、個人的で散文的なスタイルを使うこともある。

研究目標、探求アプローチ、研究特徴によって、研究結果に数量的な情報が含まれる場合もあれば含まれない場合もある。

24

知見または結果

- 著者へ

芸術的方法で研究知見を発表する場合も(例えば、ドラマ仕立てで発表してそのリンクを論文に書く)、発表内容を裏付けるためにこの論文執筆スタンダードで言及されている情報を含めるべきである。

データを記述する際の補強として引用や抜粋(例えば、感情に訴える厚い記述、フィールドノーツ、テキストの一部など)を使用できるが、これらは分析結果の記述を置き換えるものではない。

25

APAスタンダードの意味と可能性

- APAスタンダードは従来の論文システムを前提とし、それを発展させようとした教育のツールである
 - 特に質的研究を知らない研究者の視点を広げる意味をもつ。
- APAスタンダードはすぐれた質的研究論文を準備するための、かなりラフな必要条件を準備している
 - 反証可能性を読者に与えるような論文へ。
- 質の高い論文となるための十分条件となるような要素はひとりひとりの研究者が探し工夫する
 - 質的研究は従来の基準をはみ出すところに面白さがある。

26